



学校だより

墨田区立第三吾孺小学校

校長 川中子登志雄

令和3年4月6日

4月号



令和3年度の始まりに

校長 川中子登志雄

お子さんのご進級、ご入学、誠におめでとうございます。新たに104名の新入生と2名の転入生を迎え、児童数549名・全18学級でのスタートです。

コロナ禍での2度目の新年度となる、令和3年度が幕を開けました。感染拡大は未だ沈静化することなく、予断を許さぬ状況ですが、皆様ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る1月26日に開催された中央教育審議会総会において、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」が取りまとめられ、文部科学省に提出されました。

本答申においては「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、これまでの日本型学校教育の良さを受け継ぎながら、更に発展させ、学校における働き方改革やGIGAスクール構想を強力に推進するとともに、新学習指導要領を着実に実施することが求められています。また、学校における授業の中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実することの重要性が示されています。

第三吾孺小学校でも、この方向性を重視し、これまでに実施してきたそれぞれの取組を目的に照らして再検証し、さらに一歩先に歩みを進めていきたいと考えています。特に、「個別最適な学び」の実現のために、ハードとソフト両面の整備を行っていくことにしました。詳しいことは、後日お知らせいたします「令和3年度学校経営方針」にてご説明させていただきますが、本年度も「自立」「共生」「健康」の実現に向け、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、教職員一同最善を尽くす所存です。

今年度は、教職員の異動が多く、体制も変わってまいります。保護者の皆様には、これまで以上に丁寧にご説明等させていただくつもりですが、何かご不明・ご不安な点がございましたら、お気軽に学校までお問い合わせください。今年度も、保護者の皆様と密に連携を図り、子供たちの教育を進めてまいります。学校教育へのご理解とご協力、今年もどうぞよろしく願いいたします。



校庭の桜は3月中旬に満開を迎えました

【第三吾孺小学校教育目標】

自立 自ら学び、考え、行動する人

共生 思いやりをもち、共に生きる人

健康 しなやかで丈夫なところとからだをもつ人

【校章】



【令和3年度の主な取組（新規導入）】

教科担任制の導入(高学年)

学年の教員が、クラスを超え、協働して学年の運営にあたり、どのクラスの子供にも主体的に関わりをもつこと、教師の専門性を生かした質の高い指導を行うこと、そして教員の働き方改革を目的に、高学年に教科担任制を導入します。すでに、令和4年より文部科学省により正式に導入されることが決定しているシステムを先取りして行っています。児童は、主たる担任以外からも指導を受け、様々な見方・考え方を身に付けることができること、中学校へのスムーズな接続をはかる経験もできることなどを期待しています。詳細は4月17日の保護者会にてご説明します。

複数担任制の導入(3年1組)

学級数増による教職員定数の増加により、専科教員が令和2年度より1名多く配置されるようになっています。(昨年度は3年生以上の外国語活動・外国語科専科として活用)今年度は、家庭科専科教員に、学級担任としての役割も与え、一つの学級を二人の担任が担当するという取組を導入します。3年1組を二人担任制の学級とします。

学年朝礼の実施(月1回)

コロナ禍における新しい生活様式により、以前まで当たり前に行われていた様々な集団活動が大きく制限されています。世界に誇る日本型教育の良さでもあった特別活動も厳しく制限されています。感染拡大予防策を確実に講じながら、できる限りの教育活動を進めるための工夫として、教室でオンラインにて実施している全校朝礼とは別に、学年ごとに月に1度の学年朝礼を実施することにしました。この朝礼では、学年の共有体験を増やし、絆を深めることと、体力向上の取組として行われてきた「体育朝会」を合わせた活動を計画しています。

